

市と共栄大学との 連携協力について



武 幹也
議員

春日部市と共栄大学・共栄学園短期大学は、平成19年5月24日に包括的連携協定を締結し、現在、さまざまな連携事業が実施されています。

新たな事業として、共栄大学等のスクールバスを利用し、北春日部駅・共栄大学間に、学生とともに地域の高齢者を同乗させる事業、及び共栄大学等の学生を、現在の通学交通費程度で市内の商店や農家、高齢者世帯等に下宿してもらう事業を提案しますが、市の考えを伺います。

〇都市整備部長

スクールバスへの同乗は、道路運送法上の混乗に当たり、利用者や行政等からの金品の収受は禁じられているため、大学側の厚意の範囲で利用することになります。大学からは今後協力していきたいとの話を受けていますが、市が主体となり対応することは難しいと判断しています。今後は、

利用方法や事故対応方法等について、地域の自主的かつ主体的な活動において検討、協議を行っていただき、地域の合意形成が図られ、実施できるよう期待したいと思います。

〇総合政策部長

学生たちが市内をフィールドとして、まちづくりに参加していただくことはありがたいのですが、市が下宿を仲介することは難しいと考えます。

このほか

〇クレヨンしんちゃん一家の記念表彰について

〇市表彰特別賞について

〇エコ照明について

今こそ、中小業者 支援施策の充実を



松本 浩一
議員

深刻な経済危機の今こそ、行政が市内中小業者に支援の手を差し伸べる必要があります。緊急に次の施策の充実を図ることについて伺います。

①市の制度融資で、信用保証法の規定にない軽自動車税や国保税の完納を融資要件から外す。②既に県内22自治体

で実施している、住宅リフォーム助成制度の実施。③今年6月実施のプレミアム付商品券を再度実施。④市内中小業者の実態調査の実施。⑤小規模契約希望者登録制度を広く知らせ、限度額を引き上げる。⑥全国で初めて野田市が制定した公契約条例を制定する。

〇環境経済部長

利子等の補助は市税を財源としているため、融資要件に市税の完納を必須としています。住宅リフォーム助成制度は、経済効果が特定業種に限定される等、公平性の観点から導入は困難です。プレミアム付商品券は、集計結果を分析し、結果等を踏まえて研究します。市内中小業者実態調査の実施は、今後研究します。

〇総務部長

小規模契約希望者登録制度は、十分なPRに努めます。現状では、限度額の引き上げの必要性は低いと考えています。公契約条例は、今後も継続して調査・研究します。

このほか

〇9月議会請願で採択のとおり「少人数学級」の実施を
〇営業や生活の実態に即した、きめ細やかな納税相談を行い、徴税強要はしないこと

校舎・体育館の維持管理 改修・建て替えについて



武 彦卯
議員

10月15日に幸松小学校南校舎で外壁の一部が落下する事故が発生しました。幸い、児童等に被害はなかったということです。市内の学校では、これまでも東中学校で大規模に外壁が落下する等、何度か同様の事故が発生しています。これまでは人的な被害はありませんでしたが、このような事故が続けば、いつか重大な事故につながるのではないかと大変心配しています。

そこで、校舎の安全点検の実施状況を伺います。

また、現在行っている東中学校建て替え後は、老朽化した幸松小学校の建て替えに着手すべきと考えます。

〇学校教育部長

学校施設はいずれも老朽化しており、維持管理、修繕に苦慮しています。安全性の点検は、専門業者による定期的な法定点検等を年1回から2回、施設管理者による定期点

検を随時、施設課職員による一斉点検を年度当初に1回のほか、他校の事例による特定項目の点検を随時実施しています。また、今回の事故を受け、改めて校長会に点検をお願いしました。これを教訓に、さらに学校と一体となった点検を実施し、安心、安全の確保に努めます。

校舎の改築は、現在、全校の耐震補強、石綿対策を最優先に年次的に進めており、幸松小学校についても耐震補強で対応したいと考えています。

このほか

〇保育所の充実を



幸松小学校

春日部情報発信館について



岩谷 一弘
議員

春日部駅東口に開設が決まった春日部情報発信館、愛称「ぷらっとかすかべ」に対する市民の期待は大きいと感じており、以下質問します。

- ①設置目的と効果
- ②場所選定の経緯と業務内容
- ③地元商店会との連携
- 総合政策部長

行政情報ばかりではなく、観光情報、商店街の情報等、市民や来訪者の方々が必要とする情報を発信する基地としたいと考えています。それにより集客効果を高め、本市のイメージアップを図り、知名度を高めるとともに交流人口を増加させ、地域の活性化を図ることを目的としています。空き店舗の活用を前提として、1階部分が活用でき、できるだけ駅から近く、多くの人通りがある場所を選定しました。業務内容は、観光情報、イベント情報、タウン情報、市政情報等、各種情報の案内



春日部情報発信館（物産コーナー）

です。さらに情報の収集・提供、来街者の方々への休憩場所の提供や観光ボランティアの方々によるガイドの実施等、さまざまなことを行っていきたいと考えています。

地元商店会とは、休館日について協議しました。また、今回スタート時点では物販を想定していませんでしたが、強いアドバイスをいただき地元の特産品を並べることにしました。今後とも地元の方々と連携を図ってまいります。

- このほか
- 新・緊急財政健全化計画
- ITシステム再構築

春日部市のPRについて



鬼丸 裕史
議員

クレヨンしんちゃんは、今年度から市の子育て応援キャラクターとして活用が始まり、広く市民にも定着してきており、市を代表するキャラクターとなっています。来年度の活用について、引き続きどのような展開を考えているのか伺います。また、春日部駅東口にオープンした情報発信館における、しんちゃん活用のについても伺います。

一方、市の特産品をモチーフにした「はごっち・キリたん・ハッピー・ばっこ」や、「ふじたこくん」についても、まずは定着させることが重要ですが今後の考えを伺います。さらに、しんちゃんや春日部出身の芸能人を観光大使に起用し、効果的に市を内外にPRすることに對する考えを伺います。

- 総合政策部長
- では、来年度も子育て応援キ

ャクターを基本としつつ、合併5周年事業の一環として活用できるよう、版權元と協議してまいります。情報発信館では、しんちゃんの書籍・ポスター等を置いていますが、今後さらに充実してまいります。また、ご当地キャラクターの活用については、管理している各種団体とイベントでの活用の方法を協議します。観光大使については、大変有効なPR手段ですが、まずは市の情報発信に努めます。

- このほか
- 都市計画マスタープランについて

地域公共交通再編計画について



片山いく子
議員

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、国の支援が受けられる協議会を立ち上げるよう求めましたが、既に協議会を設立したと伺いました。

そこで、この協議会のもとで、公共交通の再編計画はどのように進めるのか伺います。

また、現在、オンデマンド交通は、そのシステムが急速に進歩し、システム導入が安価になったことや、予約から運行までの手続きが容易になっていること、この法律によって実証実験に対する支援も得られることから、取り組む自治体が増えています。

この再編計画の中では、オンデマンド交通についても検討するの伺います。

- 都市整備部長

市では、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく協議会を設立し、10月29日に第1回の協議会を開催しました。

今後、この協議会のもとで、市民、交通事業者、行政等が連携しながら、総合的な公共交通網の充実を目指した、地域公共交通総合連携計画の策定を図ります。

春バスの第2次の運行計画は、この計画の一部として位置付けていきます。

また、オンデマンドバス等の、さまざまな公共交通のあり方についても、この計画を策定する過程で検討します。

- このほか

- 新・緊急財政健全化計画
- 武里団地について

一ノ割駅周辺の まちづくりについて



滝澤 英明
議員

一ノ割駅周辺のまちづくりについては、昨年の3月議会では取り上げ、駅周辺の皆様と勉強会等を行い、地元住民主体のまちづくりや民間の活力を生かしたまちづくり等を通して、これからの時代に合った一ノ割駅周辺のまちづくり構想を進めていくとの答弁をいただきました。この1年間に於ける一ノ割駅周辺のまちづくり構想の経過を伺います。

○都市整備部長

過去に作成した一ノ割駅周辺まちづくり構想の事業資料

等を精査しながら、現状に即した手法を検討しているところです。そのため、地元主体での勉強会等の立ち上げまでには至っていません。

地域まちづくりモデル支援事業については、補助金の交付要件に該当する自主的なまちづくり活動を行う団体が組織されれば、本制度を活用し、市として支援したいと考えています。今後は、勉強会等を立ち上げられるよう、まちづくりの機運を高め、構想を構築したいと考えています。

このほか

○市の保健衛生施策について



石川市長の マニフェストについて



白土 幸仁
議員

石川市長のマニフェストの中の、日本一帰るとホッとする街については、春日部市への郷土愛を醸成し、市民の願いに合った目標であると評価します。その中の私の駅づくりという施策では、それぞれの駅とその周辺が特色を持ち、帰るとホッとすると癒しの駅の創造とありますが、市長が考えている具体的なイメージを伺います。また、市として私の駅づくりをしたいのだという熱い思いを各駅長さんに伝えるために、現場主義の市長として、ぜひ電車に乗って各駅にごあいさつに行っていたきたいと思います。

さらに、日本一いきいきと老後を過ごせる街の中の、民間キャリアを生かして市政を手助けしていただくシンクタンクの構築という施策についての具体的展開についても伺います。

○市長

私の駅づくりですが、今後はそれぞれの駅の性格に応じた、ハード面については駅前広場や駅前通り等の整備を、

現在事業中の春日部駅、南桜井駅から進めたいと考えています。そのほかの駅については、周辺の商店街との連携により、ソフト面での演出がでないか検討してまいります。

市民のキャリアを生かしたシンクタンクについては、知恵や技術を生かし、市政のさまざまな場面でお手伝いをいただける頭脳集団、実動集団としてのシンクタンクを作りたいと考えています。

新型インフルエンザ等の 対応について



阿部真理子
議員

新型インフルエンザの累計患者数は1000万人を超え、冬を迎え流行が本格的になるのを危惧しています。特に、小児感染が多い中、休日当番医や小児救急平日夜間診療部の受診状況を伺います。

また、年末年始、新型インフルエンザを疑う発熱患者の

受診が増えた場合、当番医を増やすなどの充実を図る考えがあるか伺います。

次に、県内12市で独自に新型インフルエンザワクチンの接種費用を補助しています。

子育て日本一や、日本一老後をいきいきと過ごせる街を公約にしている市長は、子どもや高齢者に対し、独自に補助する考えがあるか伺います。

○健康保険担当部長

休日当番医や小児救急平日夜間診療部の患者数は、昨年に比べほぼ2倍であり、新型インフルエンザの流行による患者の増加と考えられます。

現在も当番医の協力により、時間延長などで患者数の増加に対応していますが、さらに患者が増えた場合は、医師会と調整してまいります。

○市長

新型インフルエンザワクチンの接種については、低所得者の方に全額補助することにしていきますので、さらなる補助は考えていません。

このほか

○国民健康保険特別会計の財政状況について

○庄和総合支所の施設整備における防犯対策について

○市民窓口サービス向上

安全対策及び 学校施設について



小島 文男
議員

安全対策について、現在、広域農道は、非常に過密な道路になっています。管理している市が安全対策をすべきと思いますが、いかがでしょうか。

また、通学路にもなっている市道7-139号線は、歩道もなく、県道西宝珠花春日部線のY字型交差点など非常に危険です。道路整備についての考えを伺います。

次に、学校施設について、東中学校は老朽化に伴い改築されますが、市内のほかの中学校も老朽化しており、大きな問題になる前に、校舎の再建築を検討すべきと思います。そこで、学校施設の環境整備について、市の考えを伺います。

建設部長

広域農道の安全対策は、農道保全対策事業として、主体となっている埼玉県農林部へ、早期に事業化されるよう、引

き続き要望してまいります。

また、市道7-139号線の安全対策は、歩道の必要性を認識しており、用地の確保等について、地域の方々の意見をお聞きしながら、整備について相談をしてまいります。

教育長

学校施設の老朽化については、日常の点検と修理を徹底し、耐震検査等を行っていき

ます。今後とも、子どもの安全を第一に考えてまいります。

このほか

○土地利用について

○公有財産について

春バスの運行状況について



山口 保
議員

高齢化社会である現在、病院や市役所等への交通手段が目立って少ない状況が豊春地区です。そのため、高齢者の方から春バスの運行を望む声が多数寄せられております。

24万市民の交通である春バスの運行については、それぞれの地区を満遍なく運行する

ことによって、地域に参加することもできるのではないのでしょうか。市内全域の春バスの運行ルートの開発、そして、市民の声に基づいてコースの検討、並びに今後の春バスの運行に向けて、どのように進めいくのか伺います。

都市整備部長

市では今年10月29日に、春バスの運行を含めた市内公共交通網の充実を図るため、春日部市地域公共交通活性化協議会を設立しました。

今後、豊春地区の春バスの運行については、現状における道路幅員や交通量などの道路環境、運行における安全性の確保、また、路線バス業者との競合を避けるなど、さまざまな課題があります。現状を十分に調査し、協議会において協議を重ね、検討してまいります。

このほか

○水道水の鉄管への交換工事について

○都市計画道路上野長宮線推進について

○南中曽根、市道2-30号線交差点の信号設置の件

○小・中学校生徒のいじめ等の発生の状況は

○飲食店等火災発生の対策は

「救急医療情報キット」の 配布事業と「わんわん 消防隊」の導入について



大山 利夫
議員

「救急医療情報キット」は、救急隊員が駆け付けた際に、本人との意思疎通が難しくても、キットの中にある医療情報をもとに、迅速かつ適切な救急処置ができるものです。

キットの中には、持病、緊急連絡先、薬剤情報提供書、保険証と診察券の写し、本人写真等を入れ、どこの家庭にでもある冷蔵庫に保管しておき、それを表すステッカーを表示しておくものです。このキットの配布事業は、大変有効だと思えますが見解を伺います。

消防長

また、愛犬家が犬の散歩に合わせて火災等の警戒に当たる「わんわん消防隊」の当市への導入を提案します。

また、配布については、関

係部署と協議し、前向きに取り組みます。わんわん消防隊は、今後の動向を見守ります。

このほか

○日本工業大学との「包括的連携協定の締結」を提案する

○「公契約条例」について

○「障害者の雇用の促進等と就労の支援に関する条例」について

○「子ども司書」認定制度の導入と「家読（うちどく）運動」を提案するについて

○豊野町1丁目の「豊野町第2公園」にトイレの設置を

○故土屋前知事、三枝前市長、人間国宝増村氏を名誉市民に



救急医療情報キット

救急情報シート
(かかりつけ医や持病などを記入)
※港区のホームページから転載しています

小口福祉貸付金の増額を



村松 君子
議員

小口福祉貸付金制度は、緊急に生活に困っている人に対して、社会福祉協議会が窓口になって貸し付けを行っているものです。年間貸付件数146件のうち、生活保護申請者の割合は90%以上を占めており、生活保護を申請してから実際に入金するまでの約1カ月を、この貸付金に頼って生活をする人がほとんどです。県内市での小口福祉貸付金の限度額は、3万円が10市、5万円が16市、10万円が4市となっていて、当市の2万円というのは1市のみで、県内最低です。子どもが4人いる合計5人の母子世帯の実際例では、複数家庭ということで3万円を受け取りました。3万円、約1カ月暮らせると思われますか。市長は日本一幸せに暮らせる街と言いますが、それは市民一人一人が幸せに暮らせる街ということではないですか。この5人が生

活できる金額だと思いますか。増額をできないか伺います。

○市長

日本一幸せに暮らせる街については、すべての市民を対象に考えています。

生活保護は最後のセーフティネットであり、申請に基づき開始決定がされて受給になると認識しています。

社会福祉協議会の貸付事業については、団体独自の事業と認識しています。

このほか

○介護保険の充実

○がん検診の充実と人間ドック補助復活を

事業仕分けと春日部市財政に与える影響について



蛭間 靖造
議員

先月、政府の行政刷新会議において、事業仕分けが実施されました。仕分けの対象となつた事業には、道路や公園整備などを後押しする国土交通省のまちづくり関連事業や、総務省所管の地方交付税など、地方自治体に直接影響を与え

いました。そこで、特に影響を与えそうな内容について伺います。

また、現在作業を行っている平成22年度予算編成に向けて、どのように反映するのか伺います。

○財務担当部長

市の財政への影響は、間接的に影響が出てくるものなど、細かく把握するには難しい状況です。その中で特に影響があるものとして、地方交付税交付金、まちづくり関連事業、道路整備事業等が挙げられます。具体的にまちづくり関連事業では、藤塚米島線整備事業や南桜井駅周辺事業の進捗状況に影響が出ると考えています。道路整備事業では、春日部駅付近連続立体交差事業や、東埼玉道路の建設に影響を与えようと考えられます。

また、事業仕分けされた内容について、今後の国の動きに注意を払い、その結果をよく精査した上で、平成22年度予算編成に慎重に取り組んでまいります。

このほか

○バス路線の拡充について

○最勝院の丁字路に信号機の設置について

○栄町二丁目の水害について

今定例会の日程

11月27日

開会、公有財産有効活用検討特別委員長報告、公有財産有効活用検討特別委員会の終結、議案第81号から議案第103号までの上程・説明、議案第104号から議案第107号までの上程・説明・質疑・討論・採決、議案第83号並びに議案第84号及び議案第87号から議案第89号までに対する質疑、総務委員会、常任委員長報告とそれに対する質疑、議案第83号並びに議案第84号及び議案第87号から議案第89号までに対する討論・採決

12月1日

議案に対する質疑

12月3日

常任委員会

12月4日

議会運営委員会

12月7・8・10・14・15日

一般質問

12月17日

各常任委員長並びに議会運営委員長報告とそれに対する質疑、各議案並びに請願に対する討論・採決、議員

閉会中の委員会活動

提出議案の上程・説明・質疑・討論・採決、閉会

▽総務委員会

10月20・22日

・行政視察：姫路市（消防・防災体制について）、神戸市（市民サービスの向上について）、多治見市（健全な財政に関する条例について）

▽厚生福祉委員会

10月21・23日

・行政視察：久留米市（病児保育サービスについて）、大牟田市（市立総合病院について）、北九州市（健康づくり施策について）

▽建設委員会

10月21・23日

・行政視察：高知市（公共下水道事業〈雨水整備〉について）、小松島市（下水道浸水被害軽減総合事業について）、阿南市（公共下水道事業〈浸水対策〉について）

▽教育環境委員会

10月21・23日

・行政視察：旭川市（旭川市科学館サイパル）、名寄市（地産地消の取り組みに